コンボドライブ
(CD-R/RW&
DVD-ROM ドライブ)

取扱説明書

C77216000

ご注意

（１）本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りします。

（２）本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。

（３）本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。

（４）本製品を運用した結果の影響については、（３）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

Microsoft、MS、MS-DOS、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Photo-CDは米国イーストマン・コダック社の登録商標です。

BURN-Proofは三洋電機株式会社の商標です。

その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

はじめに

このたびはコンボドライブ（CD-R/RW&DVD-ROM ドライブ）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書では、コンボドライブの使い方について説明しています。ご使用の前に必ずお読みください。なお、お読みになったあとは、大切に保管してください。

また、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』―「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」もあわせてお読みください。

表記について

本書の中で使用している記号の意味は次のとおりです。

安全に関する記号



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する記号



制限事項です。
機能または操作上の制限事項を記載してあります。



参考事項です。
覚えておくと便利なことを記載してあります。



説明文が次ページに続くことを示します。



参照ページを示します。

1 2

操作手順です。
ある目的の作業を行うために、番号に従って操作します。

目次

1 添付品の確認

コンボドライブ搭載モデル(以下、本機)には、次の梱包品が添付されています。すべて揃っていることを確認してください。万一、不足や不良がございましたら、販売店、サービスセンターまたは修理センターまでご連絡ください。

- □ **コンボドライブ本体**
- □ **コンボドライブ取扱説明書(本書)**
- □ **B's Recorder GOLD/B's CLiPパッケージ**
  CD-ROMや登録カードなどが入っています。
- □ **Win DVDパッケージ**
  CD-ROMや登録カードなどが入っています。



- **コンピュータと本機を同時購入された場合、本機はあらかじめコンピュータに装着されています。**
- **「B's CLiP」はコンピュータ購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールを行ってください。**
  p.14「「ソフトウェアのインストール」
- **「B's Recorder GOLD」のオンラインマニュアルは、次の場所で見ることができます。**
  [スタート]−「(すべての)プログラム」−「B.H.A」−「B's Recorder GOLD5」

2 コンボドライブの特長

本機は、CD-ROMドライブ機能のほかに、CD-R/RWドライブ機能やDVD-ROMドライブ機能を備えています。そのため、データ、音楽、画像などをCD-RメディアやCD-RWメディアに書き込んだり、DVD VIDEOなどを再生することができます。

ドライブ機能の特長

CD-ROMドライブ機能

- 各種フォーマットのCD-ROMメディアが再生可能です。
- 最大40倍速でデータの読み出しが可能です。

CD-Rドライブ機能

- データの書き込みが可能です。書き込みの速度は20倍速、16倍速、8倍速、4倍速、1倍速から選択できます。

※ 各メディアへの書き込みは、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

CD-RWドライブ機能

- データの書き換えが可能です。書き込みの速度は、10倍速、4倍速から選択できます。

※ 各メディアへの書き込みは、書き込み速度に対応したメディアをご使用ください。

DVD-ROMドライブ機能

- DVD-ROMメディアの再生が可能です。
- 最大12倍速でデータの読み出しが可能です。

使用可能なメディア

CD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。CD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

CD-Rメディア

データ、音楽、画像などを一度だけ書き込むことができます。書き込まれたデータなどを消去したり、移動したりすることはできません。ただし、マルチセッションという方法により、CD-Rメディアに空き容量があれば、繰り返し追記することができます。

CD-RWメディア

書き込んだデータ、音楽、画像などをフォーマットし、繰り返し書き込みが行えます。

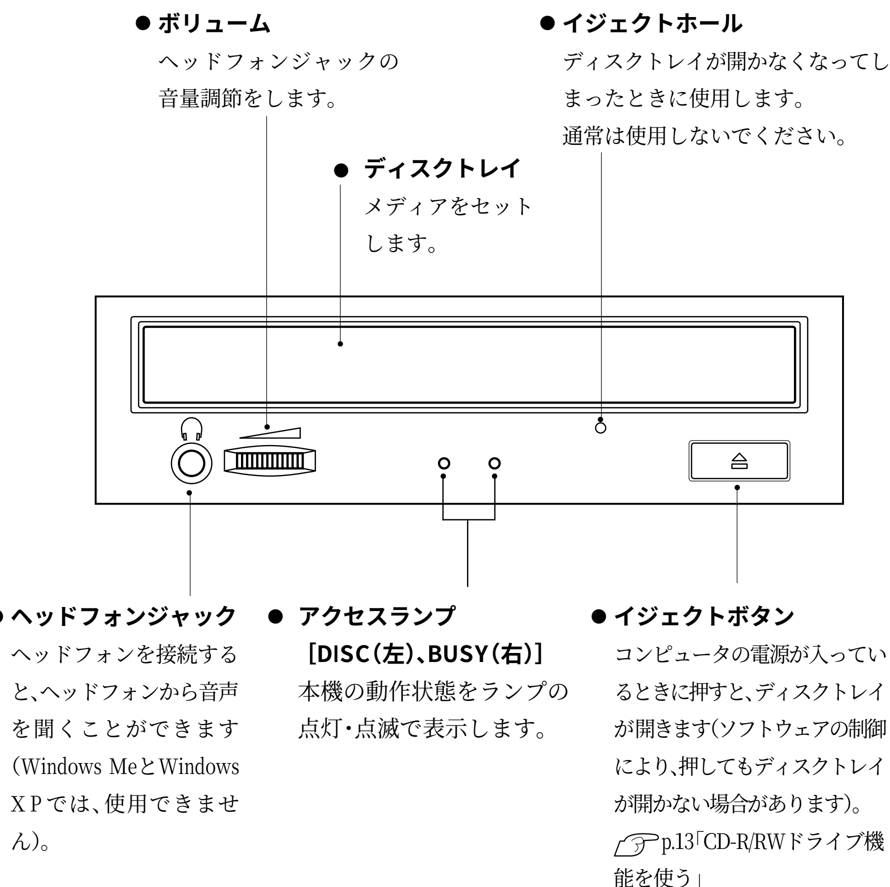
DVD-ROMメディア

データ、音楽、画像などが登録されている読み込み専用メディアです。CD-ROMにくらべて大容量のデータが登録されています。DVD-ROMメディアに書き込みをすることはできません。

3 各部の名称と働き

前面パネル

各部の名称と働きは、次のとおりです。お使いのコンピュータの機種により、形状が多少異なる場合がありますが、名称および働きは同じです。



ランプ表示

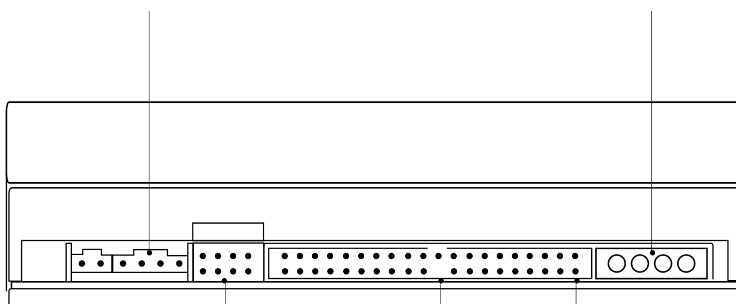
アクセスランプ(**DISC**、**BUSY**)表示と動作状態の関係は、次のとおりです。

DISC	表 示	状 態
緑	点灯	CD-ROMメディアのディスクイン時
黄	点灯	DVD-ROMメディアのディスクイン時

BUSY	表 示	状 態
黄	点灯	メディアの挿入時 メディアの再生時
橙	点滅	メディアへの書き込み時

背面パネル

- **CDオーディオ出力コネクタ**
  CDオーディオケーブルを接続します。
- **電源コネクタ**
  コンピュータ内部の周辺機器用電源コネクタを接続します。



- **ジャンパスイッチ**
  IDE機器の接続順位(マスタ、スレイブ、ケーブルセレクト)を設定します。
- **インターフェースコネクタ**
  IDEインターフェースコネクタを接続します。

4 取り扱い上の注意

本機をお使いになる前に、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』ー「安全にお使いいただくために」および「製品保護上の注意」を本章とあわせて必ずお読みになり、正しく取り扱ってください。



ひび割れや変形補修したメディアは使用しないでください。
本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

使用時の取り扱い

- ディスクトレイを出したまま放置しないでください。故障の原因になります。
- 開いているディスクトレイの上に物を置かないでください。また、上から強く押さないでください。
- 本機は、お使いになるコンピュータの温湿条件下で使用してください。詳しくは、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』ー「機能仕様一覧」をお読みください。
- 磁石など磁気を持つものを近づけないでください。磁気の影響で、動作が不安定になる場合があります。
- 結露した状態で使用しないでください。寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、結露（水滴が付着する状態）し、誤動作や故障の原因になります。メディアを取り出して約１時間ほど放置した後に、使用してください。
- 揮発性の殺虫剤などをかけないでください。ケースの変形や塗装がはげる原因になります。
- メディアの再生中や書き込み中に振動や衝撃を与えないでください。
- メディアの挿入や取り出しのとき以外は、ディスクトレイの開閉をしないでください。

メディアの取り扱い

- 直射日光が当たる所、暖房器具の近くなど、高温・多湿となる場所には置かないでください。
- 温度差の激しい場所に置かないでください。結露が生じる場合があります。
- 上に物を載せないでください。
- 汚したり、落としたりして傷を付けないでください。
- クリップではさむ、折り曲げるなど、無理な力をかけないでください。
- ボールペンなどの先の硬いもので文字を書いたり、シールや紙を貼らないでください。
- アクセスランプ点灯・点滅中は、メディアを取り出したり、コンピュータの電源スイッチを押したり、リセットしないでください。
- 使用後は、コンピュータにセットしたままにしたり、裸のまま放置したりしないでください。専用のケースに入れて保管してください。
- ゴミやホコリの多いところでの使用や保管はしないでください。
- 信号面（文字などが印刷されていない面）に触れないでください。
- レコードやレンズ用のクリーナーなどは使わないでください。クリーニングするときは、CD専用クリーナーを使ってください。
- メディアをレコードのように回転させて拭かないでください。内側から外側に向かって拭いてください。

5 コンボドライブの装着

本機をコンピュータに装着する方法について説明します。あとで装着する場合や、取り外したあとに再度装着する場合などに参照してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』―「システムの拡張」もあわせてご覧ください。

5.25型ドライブ装置の取り付け・取り外しができない機種については、本章は必要ありません。

ジャンパスイッチの設定

本機は、コンピュータに標準で装備されているIDEインタフェースに接続します。IDE機器（IDE HDD、IDE CD-ROMドライブやATAPI MOなど）を複数使用する場合は、すべてのIDE機器にマスタやスレイブ、ケーブルセレクトと呼ばれる優先順位の設定をする必要があります。

『ユーザーズマニュアル』―「IDE装置の設定」

優先順位の設定は、本機背面のジャンパスイッチで行います。あらかじめお使いのコンピュータに接続されているすべてのIDE機器の数と種類を確認してください。ジャンパスイッチの設定方法は、次のとおりです。

1 **本機を含め、接続されているすべてのIDE機器に対して、優先順位を決定します。**

『ユーザーズマニュアル』―「IDE装置の設定」

5.25型ドライブを2台接続する場合は、2台ともセカンダリコネクタに接続します。その場合、セカンダリコネクタの優先順位を次のように設定してください。

マスタ	スレイブ
CD-ROMドライブ	コンボドライブ

2

手順1で決定した本機の優先順位を、ジャンパスイッチで設定します。本機のマスタ、スレイブ、ケーブルセレクトのジャンパスイッチの位置は、次のとおりです。

p.7「背面パネル」

ドライブ設定	ジャンパスイッチの位置
マスタ	
スレイブ	
ケーブルセレクト	

装着の手順



コンピュータの電源ケーブルを電源コンセントに接続した状態で、本機を装着しないでください。感電や火傷の危険があります。

■ドライブベイへの装着

本機は、コンピュータの5.25型ドライブベイに装着します。装着する際は、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「システムの拡張」をご覧ください。



■各ケーブルの接続

コンピュータに装着したあとは、各ケーブルを接続します。各コネクタの位置は、p.7「背面パネル」をご覧ください。コネクタにはそれぞれ誤挿入防止のための切り欠きがあります。切り欠きとケーブルの突起を合わせて接続してください。お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「ドライブ(IDE)装置の接続例」も参照してください。

1 **本機背面のIDEインタフェースコネクタに、IDEインタフェースケーブルを接続します。**

2 **スピーカから音を出力するために、CDオーディオケーブルを接続します。**

● サウンドボードをお使いの場合

本機のCDオーディオコネクタと、サウンドボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。

● メインボード上にあるサウンド機能をお使いの場合

本機のCDオーディオコネクタと、メインボード上のCDオーディオ内部接続用コネクタに接続します。
メインボード上にサウンド機能が搭載されていないモデルもあります。

3 **電源コネクタに、コンピュータ内部の周辺機器用電源ケーブルを接続します。**

6 コンボドライブの使い方

使用する際は、次の注意事項を守り、正しくお使いください。



ヘッドフォンやスピーカを使用する場合は、ボリューム調節ダイヤルを最小に調節してから接続してください。ボリューム調節が大きくなっていると、思わぬ大音量により聴覚障害の原因となります。

メディアのセットと取り出し

メディアのセット方法と取り出し方法および強制的な取り出し方法については、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』―「CD-ROMドライブを使う」をご覧ください。ドライブの形状は異なりますが、基本的な操作方法は同じです。その際には、「CD-ROMドライブ」を「コンボドライブ」と読み替えてください。

また、添付されているイジェクトピンを必ず使用してください。



本機を縦置きで使用する場合、8cmメディアの使用はできません。

CD-R/RW ドライブ機能を使う

本機では、データ、音楽、画像などをCD-Rメディア、CD-RWメディアに書き込むことができます。また、メディアに書き込む際に発生するバッファアンダーランエラー* を自動的に防止するBURN-Proof™(バーン・プルーフ)機能を搭載しています。そのため、書き込みエラーを未然に防ぐことができ、メディアを無駄にすることなく、安心して書き込みが行えます。

* 一定の速度でメディアへ書き込まないと、発生するエラーのことです。
CD-R/RW ドライブは、CD-R/RW ドライブ側のバッファメモリに一時的に書き込むデータを蓄えながらメディアに書き込んでいます。書き込み中にコンピュータで他の作業をするなど、バッファメモリのデータを使い切ってしまうと発生します。



■メディアへの書き込み

メディアへ書き込みをする場合は、ライティングソフトウェアが必要です。本機に添付の「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」には、「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」２つのライティングソフトウェアが登録されています。

「B's CLiP」は、コンピュータ購入時にはインストールされていません。必要に応じてインストールを行ってください。

●ソフトウェアの使用方法

「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」の詳しい使用方法については、それぞれのオンラインマニュアルをご覧ください。

・[スタート]－「（すべての）プログラム」－「B.H.A」－「B's Recorder GOLD5」
・[スタート]－「（すべての）プログラム」－「B.H.A」－「B's CLiP」

●ソフトウェアのインストール

「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」のインストール方法は、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド（PDFファイル）をご覧ください。「B's Recorder GOLD」は、コンピュータ購入時にはあらかじめインストールされています。「B's Recorder GOLD」のインストールが必要になるのは、Windowsの再インストール時などです。

B's Recorder GOLD：
「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsGOLD5」－「DOC」－quick（ファイル名）
B's CLiP：
「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「開く」－「BsCLiP」－「DOC」－Quick（ファイル名）
（Windows XPは[スタート]－「マイコンピュータ」）

PDF ファイルを見たり、印刷するためには「Adobe Acrobat Reader 」が必要です。「Adobe Acrobat Reader 」は、コンピュータ購入時にあらかじめインストールされています。

●B's CLiP使用時のメディアの取り出し

「B's CLiP」でフォーマットしたCD-RメディアやCD-RWメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。

■メディアへの書き込み時の注意

メディアへの書き込みを行っているときに、Windowsが省電力(パワーマネージメント)モードに切り替わると、CD-RメディアやCD-RWメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に、省電力機能を無効にしてください。

『ユーザーズマニュアル』ー「省電力機能を使う」

省電力機能を無効にする方法は次のとおりです。

1 **[スタート]ー「設定」ー「コントロールパネル」をクリックします。**
Windows XPの場合は、[スタート]ー「コントロールパネル」をクリックします。

2 **「電源オプション(電源の管理)」アイコンをダブルクリックします。**
Windows XP の場合は、「パフォーマンスとメンテナンス」ー「電源オプション」をクリックします。

3 **「モニタの電源を切る」など、すべての項目の時間設定を「なし」に設定します。**

4 **[適用]をクリックし、[OK]をクリックします。これで、省電力モードが無効になります。**

■ 適応フォーマット

本機は、使用目的に合わせたフォーマット形式でメディアに書き込むことができます。書き込み、読み取り可能なフォーマット形式は、次のとおりです。ただし、本機で適応しているフォーマット形式でも、ライティングソフト側で適応していないフォーマット形式は使用できません。「B's Recorder GOLD」のオンラインマニュアルをご覧になり、適応フォーマットをご確認ください。

p.14「ソフトウェアの使用方法」

フォーマット	書き込み（Write）	読み取り（Read）
CD-DA	○	○
CD-G	×	×
CD-TEXT	○	○
CD-ROM（Mode1）*	○	○
CD-ROM XA（Mode2 Form1・Form2）*	○	○
Mixed Mode CD-ROM（CD-ROM+CD-DA）	○	○
Photo-CD*	○	○
Video-CD	○	○
CD-I	×	×
CD-EXTRA	○	○

*: マルチセッション機能を含む
マルチセッション機能とはCD-Rメディアに書き込みを行ったあと、空き容量があれば99回まで追記できる機能です。

DVD-ROMドライブ機能を使う

DVD-ROMメディアの再生ができます。コンピュータ購入時には、DVD VIDEOを再生するためのソフトウェア「Win DVD」がインストールされています。詳しい使用方法については、『Win DVDユーザーズマニュアル』をご覧ください。

■ DVD VIDEO再生時の制限

「WinDVD」でDVD VIDEOの再生をする場合に、次の解像度、色数、リフレッシュレートの組み合わせではDVD VIDEOの再生ができません。DVD VIDEOの再生ができない場合は、解像度などを確認して変更してください。

表示できない組み合わせ

解像度	色数	リフレッシュレート
1024×768ドット	「16ビット」または「32ビット」	「最適」または「85Hz」
1280×1024ドット	すべて	すべて

1024×768ドットで表示する場合は、リフレッシュレートを「60Hz」〜「75Hz」に設定してください。

7 困ったときに

本機の調子がおかしいと感じたときは、下記の項目を確認してみてください。また、添付ソフトウェアのマニュアルも参照してください。確認後も状況が変わらない場合は、お買い求めいただきました販売店、サービスセンターまたはテクニカルセンターまでご連絡ください。

現象　**コンピュータが起動しなくなった。本機にアクセスするとコンピュータが停止（ハングアップ）する。**

確認と対処

- コンピュータの使用環境について、お使いのコンピュータの『ユーザーズマニュアル』－「安全にお使いいただくために」、「製品保護上の注意」および本書「取り扱い上の注意」の項目を確認してください。
- 本機に、IDEインターフェースケーブルおよび電源ケーブルが正しく接続されているか、また、ケーブルに損傷などがないかを確認してください。
- p.10「ジャンパスイッチの設定」で参照して、本機およびほかのIDE機器の優先順位（マスタやスレイブなど）の設定を認識してください。

現象　**セットしたメディアにアクセスできない。**

確認と対処

- メディアを挿入した直後、アクセスランプ点灯中はデータの読み込み準備のため、アクセスできません。アクセスランプの消灯を待って、もう一度アクセスしてみてください。
- メディアの表面に傷などがないか確認してください。
- 別のCD-ROMにアクセスできるか確認してください。問題がない場合は、アクセスできないメディアに問題がある可能性があります。
- メディアが正しくセットされているか確認してください。

- メディアのフォーマット形式が、本機に対応していない可能性があります。フォーマット形式を確認してください。

p.16「適応フォーマット」

- 本機との相性により、書き込み済みのCD-RメディアまたはCD-RWメディアを読み込めない場合があります。

現象 **セットしたメディアが読み込めない。**

確認と対処

- メディアには、CD-ROM、音楽CD、ビデオCD、フォトCDなどがあります。コンピュータの記録メディアとしてそのまま利用可能なのはCD-ROMメディアだけです。そのほかのメディアにアクセスするためには専用のソフトウェアが必要になります。Windowsには音楽CDなどを再生するソフトウェアとして「Windows Media Player」が標準で添付されています。

現象 **DVDの再生ができない。**

確認と対処

- DVD VIDEOを再生する場合は、「Win DVD」を使用します。「Win DVD」がインストールされているか確認してください。「Win DVD」はコンピュータ購入時にインストールされています。

- ディスプレイの画面解像度や色数、リフレッシュレートの設定を確認してください。

p.17「DVD-ROMドライブ機能を使う」

現象 **メディアをセットすると画面が開いてしまう。**

確認と対処

- セットしたメディアに自動再生機能がある場合は、自動的に画面を開きます。メディアに登録されている内容を見たい場合は、[キャンセル]または☒をクリックして、画面を閉じてから、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンを右クリックして、「開く」を選択します(Windows XPは[スタート]−「マイコンピュータ」)。

現象　**音楽CDやDVD VIDEO再生時に、スピーカやヘッドフォンから音声が出力されない。**

確認と対処

- Windows Me、Windows XPでは、ヘッドフォンジャックにヘッドフォンを接続しても、音声を出力することはできません。
- ヘッドフォンが、ヘッドフォンジャックに正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。
- ボリュームの調節が適切か確認してください。
  『ユーザーズマニュアル』－「サウンド機能を使う」
- アンプ内蔵スピーカが、コンピュータの背面側にあるライン出力コネクタに接続されているか確認してください。サウンドボードをお使いの場合は、サウンドボードのライン出力コネクタに接続されているか確認してください。
- アンプ、またはアンプ内蔵スピーカのスイッチが入っているか確認してください。
- p.12「各ケーブルの接続」を参照して、CD オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、ケーブルに傷や損傷などがないか確認してください。

現象　　**メディアへの書き込みができない。**

確認と対処

- 本機の対応速度にあわせたメディアを使用しているかどうか確認してください。
  p.4「ドライブ機能の特長」
- 本機との相性により、セットしたCD-RメディアまたはCD-RWメディアに書き込めない場合があります。
- メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。
- メディアの表面に汚れや傷などがないか確認してください。
- メディアの残容量があるか確認してください。
- ヘッドレンズなどが汚れていないか確認してください。汚れが原因で、書き込みができない場合があります。
- メディアへの書き込みをする場合には、専用のライティングソフトウェアが必要です。本機に添付の「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」には、「B's Recorder GOLD」と「B's CLiP」2つのライティングソフトウェアが登録されています。コンピュータ購入時には、「B's Recorder GOLD」がインストールされています。「B's CLiP」は、必要に応じてインストールを行ってください。
  それぞれのインストール方法は、「B's Recorder GOLD/B's CLiP CD-ROM」に登録されているクイックガイド(PDFファイル)をご覧ください。

  B's Recorder GOLD：

  「マイコンピュータ」ーCD-ROMアイコンを右クリックー「開く」ー「BsGOLD5」ー「DOC」ーquick(ファイル名)

  B's CLiP ：

  「マイコンピュータ」ーCD-ROMアイコンを右クリックー「開く」ー「BsCLiP」ー「DOC」ーQuick(ファイル名)

  (Windows XPは[スタート]ー「マイコンピュータ」)

- Windows XPで「B's CLiP」をご使用の場合、[スタート]－「マイコンピュータ」－CD-ROMアイコンを右クリック－「プロパティ」－「書き込み」タブ－「このドライブでCD書き込みを有効にする」のチェックを外してみてください。

現象 **書き込み中に書き込みエラーが発生する。**

確認と対処

- Windowsが省電力モードに切り替わると、CD-RメディアまたはCD-RWメディアへのデータ転送エラーが起き、書き込みに失敗する場合があります。書き込みを始める前に省電力機能を無効にしてください。

  p.15「メディアへの書き込み時の注意」

- 本機との相性によって、セットしたCD - RメディアまたはCD - RWメディアに書き込めない場合があります。

- メディアの残容量があるか確認してください。

- ヘッドレンズの汚れによって書き込みができない場合があります。

現象 **ディスクトレイが開かない。**

確認と対処

- コンピュータの電源が入っているか確認してください。

- 「B's CLiP」でフォーマットしたCD-RメディアやCD-RWメディアは、イジェクトボタンを押しても取り出すことができません。メディアの取り出し方法については、「B's CLiP」のオンラインマニュアルをご覧ください。
  [スタート]－「(すべての)プログラム」－「B.H.A」-「B's CLiP」

- 上記の作業などを行っても取り出せない場合は、ディスクトレイを強制的に開く方法があります。詳しくは、コンピュータに添付の『ユーザーズマニュアル』－「CD-ROMドライブを使う」－「強制的なCD-ROMの取り出し」をご覧ください。

現象　**ディスクトレイが閉まらない。**

確認と対処　● メディアが正しくセットされているかどうか確認してください。

MEMO

MEMO

PL/320A/20104012



R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

02.06-15.00(AB)